

令和7年版

や	ま	し	な
警	察	白	書

The White Paper on Yamashina Police 2025



山科防犯協会

山科交通安全協会

山科警察署

## ごあいさつ



皆様には、平素から山科警察署の活動や、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜っていることに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、山科警察署では、この度、令和7年中の山科警察署管内の治安情勢や各種活動状況を取りまとめた『令和7年版 やましな警察白書』を作成いたしました。

当署では、昨年、SNSを利用したロマンス詐欺事件の被疑者を検挙したほか、交通事故後の救護措置を講じなかったひき逃げ事件の被疑者や、潜水艇事業などへの投資名目で違法に資金を集めた投資関連会社の経営者らによる出資法、金融商品取引法違反事件を検挙するなど、様々な事件を検挙・解決することができました。

しかしながら、令和7年中の刑法犯認知件数は、山科警察署管内で1,106件と、前年に比べて156件増加し、さらには交通事故の発生件数、死亡者ともに前年に比べて増加しており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行以前の治安水準に戻りつつあることを懸念しております。

近年の社会情勢の変化に伴い、犯罪の態様は多様化・巧妙化するとともに、犯罪抑止や交通事故防止、高齢者や子供を守る取組など、警察に求められる役割は一層重要性を増しております。

本書を通じて、警察の活動への御理解を深めていただくとともに、地域の安全と安心の確保に向けた共助の輪がさら広がることを期待しております。

今後とも、より一層信頼される警察署を目指し、署員一丸となって職務に邁進してまいります。

令和8年3月

京都府山科警察署長 **櫛山 亮一**

## 令和7年版 やましな警察白書 目次

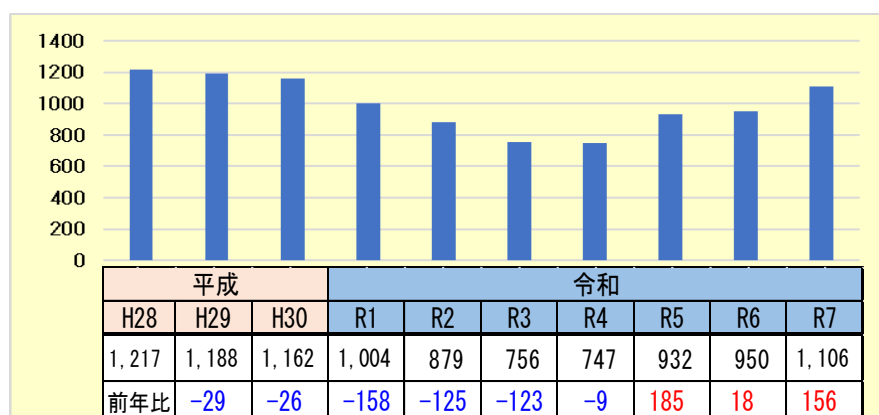
- 犯罪の発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 特殊詐欺の発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 2、3
- 交通事故発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 生活安全警察の活動・・・・・・・・・・・・・・ 5～7
- 地域警察の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8、9
- 刑事警察の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10、11
- 交通警察の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12、13
- 警備警察の活動・・・・・・・・・・・・・・ 14、15
- 会計・警務警察の活動・・・・・・・・・・・・ 16～18



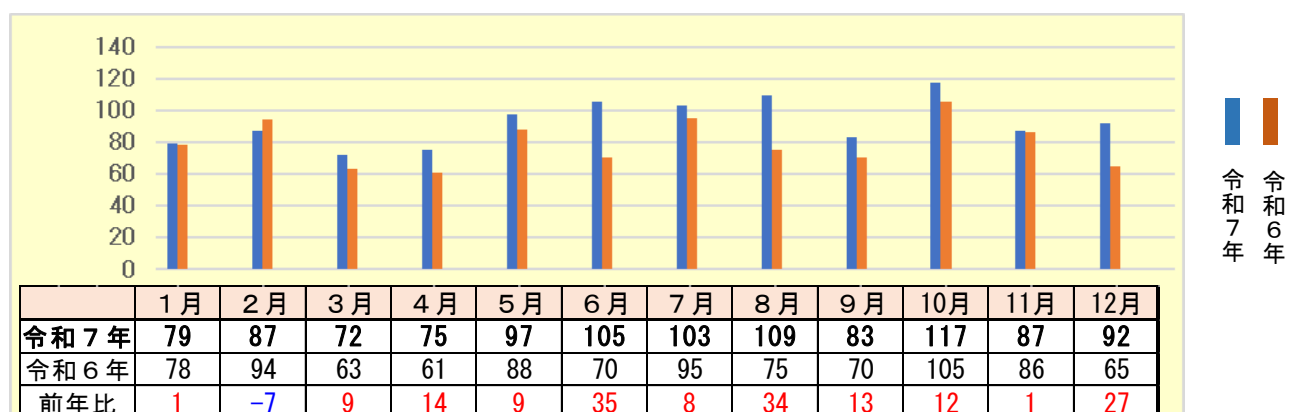
# 犯罪の発生状況

## 1 犯罪の発生状況

### (1) 過去 10 年間の刑法犯認知件数の推移



### (2) 月別の刑法犯認知件数



### (3) 交番別認知件数

	柳辻	大塚	御陵	山科駅前	花山	竹鼻	醍醐	石田	小栗栖	勸修寺	四宮	百々	不詳
令和7年	212	57	35	87	73	80	130	75	79	113	57	65	43
令和6年	177	73	37	92	59	65	82	71	78	99	37	50	30
前年比	35	-16	-2	-5	14	15	48	4	1	14	20	15	13

### (4) 主な罪種別認知件数

	凶悪犯			粗暴犯		窃盗犯						わいせつ犯	
	強盗	強制性交等	殺人	暴行	傷害	侵入盗	自動車盗	オートバイ盗	部品ねらい	車上ねらい	ひったくり		万引き
令和7年	2	6	0	42	40	30	4	52	26	37	1	163	13
令和6年	3	6	1	37	44	17	4	21	22	44	3	184	17
前年比	-1	0	-1	5	-4	13	0	31	4	-7	-2	-21	-4

## 2 犯罪の発生状況の特徴等

- ・ 刑法犯認知件数の総数は、コロナ禍以降、3年連続で増加傾向にある。
- ・ 罪種では、オートバイ盗のほか、住宅や店舗に侵入して金品を窃取する侵入盗が増加している。

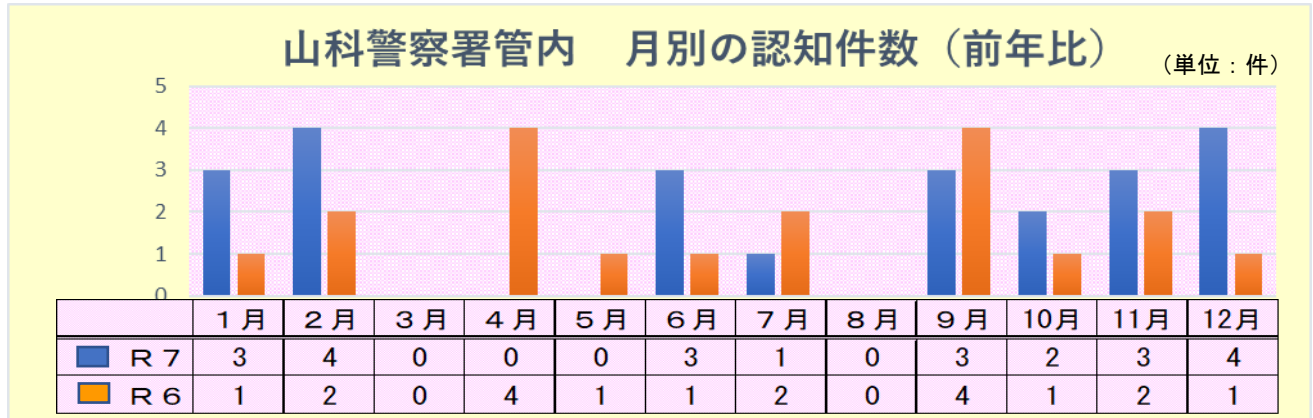
**STOP**

# 特殊詐欺の発生状況

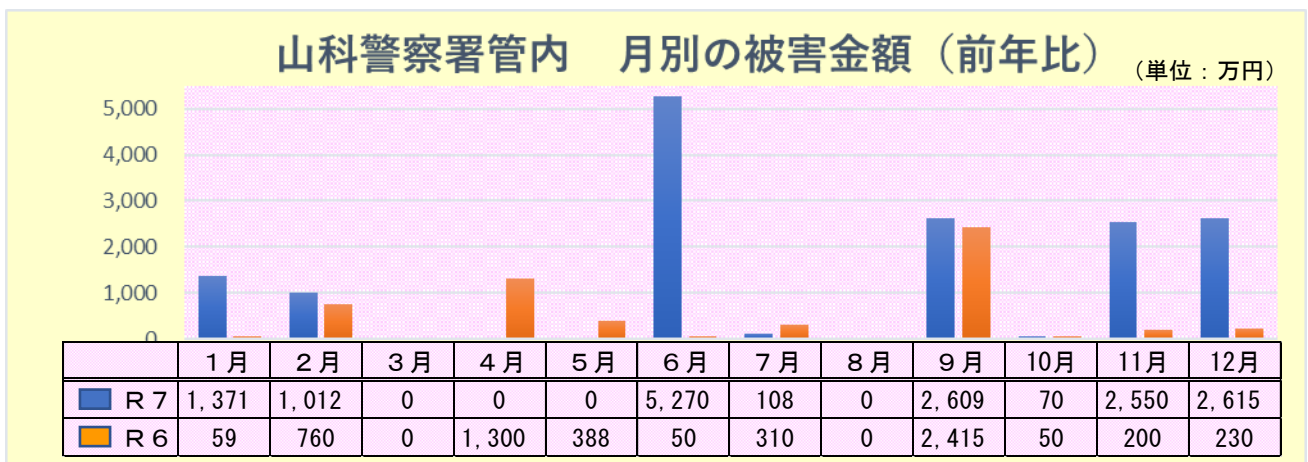
**STOP**

## 1 山科警察署管内 月別の認知件数

※ 数値は暫定値



## 2 山科警察署管内 月別の被害金額



## 3 山科警察署管内 特殊詐欺被害の現状（令和7年中）

### (1) 被害件数・被害額

- 被害件数 23件（前年比+4件）
- 被害総額 1億5,604万7,333円（前年比+9,843万1,513円）

### (2) 地域別の件数・被害額

- 山科区
  - 被害件数 18件（前年比+1件）
  - 被害額 1億864万9,333円（前年比+5,491万4,513円）
- 伏見区
  - 被害件数 5件（前年比+3件）
  - 被害額 4,739万8,000円（前年比+4,351万7,000円）

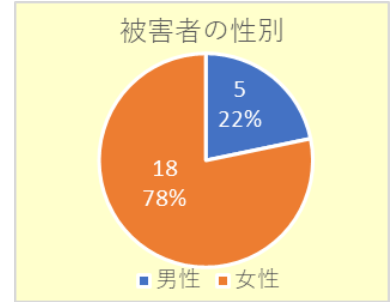
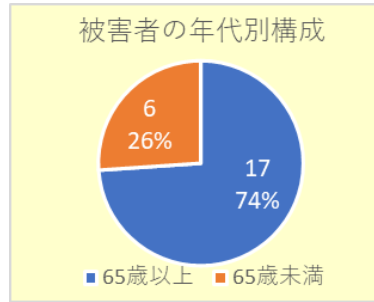


### (3) 高齢者被害

管内における特殊詐欺被害 23 件のうち、65 歳以上の高齢被害者は 17 人（74%）

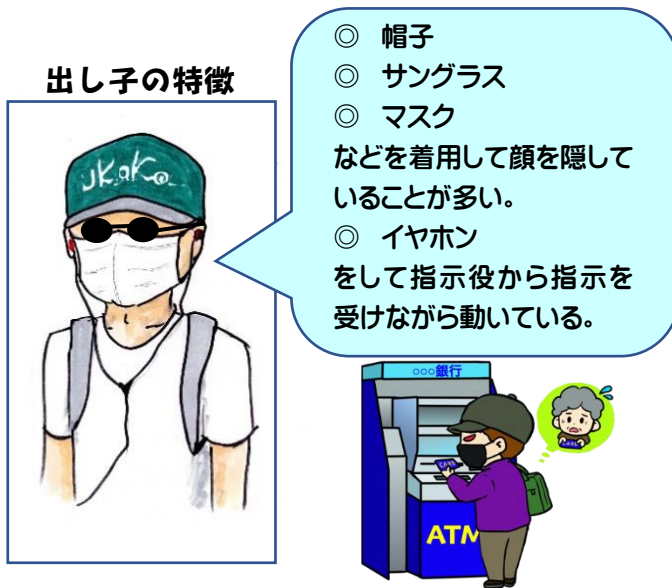
高齢被害者のうち、独居世帯が 8 人（47%）、家族世帯が 9 人（53%）

全被害者のうち、男性 5 人（22%）  
女性 18 人（78%）、そのうち、65 歳以上の高齢女性は 13 人で高い割合を占めている。



## 4 特殊詐欺の手口と特徴

特殊詐欺は、一般的に犯行を指示する「指示役」、電話を架ける「架け子」、直接被害者宅を訪問しキャッシュカードや現金を受け取る「受け子」、だまし取ったキャッシュカードを使ってATMから現金を引き出す「出し子」など、役割分担をして犯行に及んでいます。



### ○ なりすまし別

- ・ 警察 13 件
- ・ 親 族 4 件
- ・ 銀 行 1 件
- ・ 検 察 官 1 件
- ・ 行政機関（金融庁） 1 件
- ・ その他 3 件

### ○ 被害金品交付形態別

- ・ 現金振込 8 件
- ・ 現金交付 7 件
- ・ キャッシュカードすり替え 4 件
- ・ キャッシュカード手交 3 件
- ・ その他（偽造通貨） 1 件

## 5 被害に遭わないために

特殊詐欺の被害に遭わないために・・・

- ◎ 他人にキャッシュカードを渡さないでください！
- ◎ 他人に暗証番号を教えないでください！
- ◎ 電話でお金のお話が出たら、相手を疑ってください！

そして、少しでもおかしいと感じれば、迷わず警察に連絡してください。





# 交通事故の発生状況



## 1 京都府内の交通事故発生状況

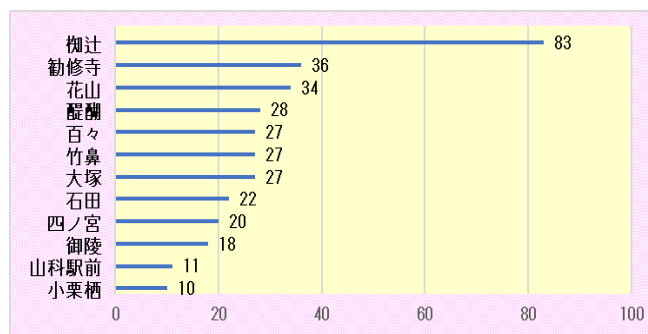
区分/年数	令和7年	令和6年	前年比	
発生件数	3,586	3,745	-159	-4.2%
死者数	49	52	-3	-5.8%
負傷者数	4,058	4,233	-175	-4.1%

## 2 山科警察署管内の交通事故発生状況

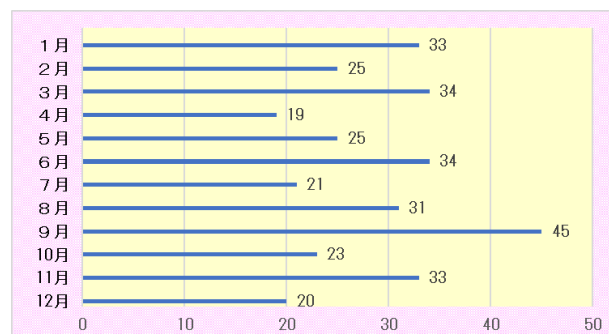
区分/年数	令和7年	令和6年	前年比	
発生件数	343	260	+83	+31.9%
死者数	4	0	+4	
負傷者数	396	299	+97	+32.4%

## 3 山科警察署管内の交通事故の特徴

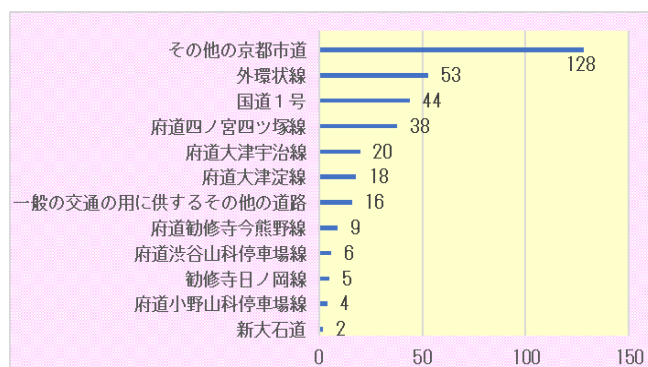
《 交番別発生状況 》



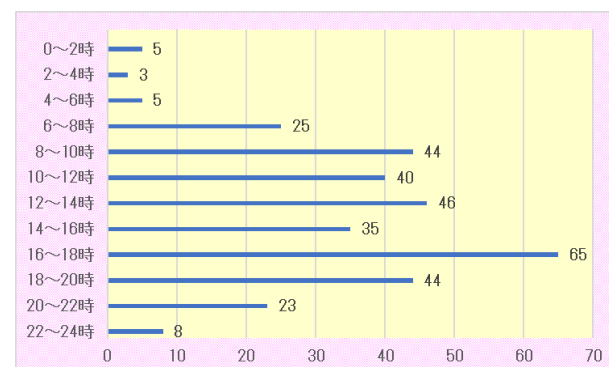
《 月別発生状況 》



《 路線発生状況 》



《 時間帯別発生状況 》



- ・ 事故発生件数は、前年比で+約30%と大きく増加。
- ・ 主要4路線（国道1号、外環状線、府道四ノ宮四ツ塚線、府道大津宇治線）での事故が、全事故の約45%を占める。
- ・ 事故類型では、右左折時の事故（左折巻き込み、右折直進等）が増加した。
- ・ 時間帯では、夕方（午後4時～午後6時）の事故が増加した。

# 生活安全警察の活動

## 1 犯罪抑止対策

### (1) 犯罪発生状況及び犯罪抑止活動

令和7年中の刑法犯認知件数は、前年対比で156件増加し、コロナ禍以前の水準に戻りつつあり、身近な犯罪であるオートバイ盗、万引き、車上ねらいは相変わらず多発している状況です。今後も区民のみなさんと連携し、防犯対策や検挙活動を強化していく必要があります。

### (2) 地域安全活動の推進

#### ① 一日警察署長イベント

全国地域安全運動の一環として、山科防犯協会、京阪ホールディングス株式会社、京都シティ開発株式会社及び山科地域防犯推進委員協議会と共催し、8代目おけいはん枚方けい子を務める俳優 三浦里奈氏を一日警察署長に迎えて防犯イベントを実施しました。



【イベント開催状況】

#### ② 特殊詐欺防止にかかる国際電話利用休止の申込み啓発



【国際電話利用休止啓発活動】

「京都府知事及び京都府警察本部長の国際電話を利用した特殊詐欺に関する緊急声明」の発令を受け、管内各所において国際電話利用休止申込みブースを設け、特殊詐欺抑止の広報啓発を実施しました。

## 2 少年非行防止対策

### (1) 少年非行情勢

山科警察署管内の特徴として、小学生と中学生の少年非行の割合が高い傾向にあり、令和7年中、刑法犯を犯した少年の検挙・補導人員は96人でしたが、なかでも触法少年の比率が大幅に増加傾向（前年比+56人）にあります。

### (2) 少年犯罪及び福祉犯罪の主な検挙事例

- 無職少年による麻薬及び向精神薬取締法違反事件（4月）
- 無職少年らによる連続住居侵入・窃盗事件（7月）
- 通信制高校生による覚醒剤取締法違反事件（10月）
- 有職少年らによる傷害・恐喝事件（10月）
- 女子高校生を被害児童とする不同意わいせつ・性的姿態等撮影・性的影像記録提供等事件（11月）

### (3) 少年の非行防止対策と立ち直り支援活動

山科少年補導委員と協働して、鉄道駅や大型商業施設などにおける少年非行防止の啓発ビラ及びポケットティッシュの配布、夜間帯に公園やコンビニエンスストアへの巡回、山科少年グラウンドゴルフ大会の開催など少年の健全育成及び非行防止対策を進めています。

非行少年の非行防止対策として、保護者の同意を得た対象少年1人をその特性に応じて定期的にサツマイモ堀、ケーキ作り、プロスポーツチームの練習などの体験活動に参加させて、少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動を行っています。



【非行防止活動】



【夜間パトロール】

### 3 人身安全対策

- (1) DV事案については、令和7年中、434件（暫定値）の相談を受理し、事件化のほか、あらゆる手段を講じて再発防止など適切な保護対策を実施しています。
- (2) ストーカー相談についても令和7年中、36件（暫定値）を受理し、被害者の要望により相手方に警告を行い、被害者の安全を確保しました。
- (3) 児童虐待については、令和7年中、情報の寄せられた児童虐待事案256件（暫定値）を児童相談所に通告するなど、行政機関と連携し適切な対応を図りました。

### 4 風俗及び保安関係事犯の検挙状況

- ・ 風俗及び保安関係事犯の主な検挙事例

潜水艇事業などへの投資を名目に、違法に資金を集めた投資関連会社の経営者らを出資法違反及び金融商品取引法違反事件で逮捕しました。本事件では、マネーロンダリング（資金洗浄）も行われており、組織犯罪処罰法違反事件でも検挙しています。

- 京都府迷惑行為等防止条例違反事件（4月）
- 出資法違反事件（6月）
- 組織犯罪処罰法違反事件（6月）
- 動物愛護法違反事件（11月）

### 5 トピックス

山科署では、特殊詐欺や悪質商法をはじめとした面識犯罪に不安を感じられている住民の方に、署オリジナル防犯ステッカーを配布しました。



# 地域警察の活動

## 1 交番・パトカーの活動

地域課では、12 交番を拠点とし、3 台のパトカーを運用して地域の安全確保に努めています。地域警察官が各家庭を訪問し、地域情報の提供や防犯指導を行う巡回連絡を始め、通学路の警戒、犯罪の予防や検挙に向けたパトロールを行うなど地域に密着した活動を実施しています。



【警ら用無線自動車】

## 2 110 番受理状況



【通信指令の状況】

令和7年中の山科署管内への110番受理件数は18,090件で、前年に比べて1,085件増加しており、府内では3番目に多い件数となっています。全ての110番通報は、京都府警察本部通信指令課を経て、各警察署に通報内容が伝えられます。この指令を受けた山科署の指令室勤務員が交番やパトカーなどに指令し、警察官が少しでも早く現場に急行できるように工夫しています。

## 3 犯罪検挙活動

地域警察官は、不審者に対する職務質問を通じて街頭で多発する犯罪を検挙することで、犯罪を抑止し住民の皆さんの安全・安心の確保に努めています。

令和7年中、地域課の警察官が検挙した主な事例は

- 大麻取締法違反事件（1月）
- 覚醒剤取締法違反事件（2月）
- 宅配ボックスからの窃盗事件（4月）
- オートバイ盗事件（5月）
- 犯罪発生リスク分析による自転車盗事件（7月）
- 軽犯罪法違反（護身用武器）事件（8月）

などがあります。



## 4 交番相談員の活動

管内にある全12交番に交番相談員を配置しています。交番相談員は、警察業務に関する知識や経験が豊富な警察OBが務めており、

- 地理案内
- 遺失・拾得物の取り扱い
- いたわりテレホン
- 地域会合への参加

などの活動をしています。



【交番相談員の活動】

## 5 雑踏事故の防止対策

山科署管内は、醍醐五大力尊仁王会、六地藏巡り、山科義士まつりなどの祭礼行事があり、地域課員が主催者と連携し、雑踏警備や交通規制を実施して雑踏事故の未然防止に努めています。

## 6 府民協働防犯ステーション

地域の安全・安心に関わっておられる団体が交番を核として、警察や行政と連携し地域の実情に応じた防犯活動に取り組むネットワークが、「府民協働防犯ステーション」です。山科署では、主にボランティア団体の皆さんと定期的な防犯パトロールを行っています。



【ながら見守り活動】

## 7 情報発信活動

地域の身近な出来事や事件・事故の発生状況を記した「ミニ広報紙」、「交番速報」を作成し、公共施設への掲示や自治会等を通じた回覧を行っています。



# 刑事警察の活動

## 1 凶悪事件～強行犯係

強行犯係では、令和7年4月、管内で発生した強盗致傷事件について防犯カメラの精査を中心に捜査した結果、被疑者2名を特定し検挙しました。また、令和7年5月、管内で発生した強盗致傷事件について、潜伏していた被疑者を特定し抵抗する被疑者を制圧検挙するなど、粘り強く緻密な捜査により多数の事件を検挙・解決しました。



【防犯カメラ精査のイメージ】



【逮捕制圧のイメージ】

## 2 窃盗事件～盗犯係

盗犯係では、令和7年2月、管内で発生した住居侵入・窃盗事件について防犯カメラの精査を中心に捜査した結果、被疑者を特定し、他府県に潜伏していることを突き止め検挙するなどしました。刑法犯の約75%を占める窃盗事件のなかでも侵入窃盗・ひったくりといった悪質な手口を重要窃盗犯として位置づけ、警察本部などと合同捜査を積極的に推進しました。



## 3 知能犯事件～知能犯係

令和7年6月、公正な選挙の実現に向けて、山科警察署第27回参議院議員通常選挙違反取締本部を設置して、選挙違反に関する各種捜査を実施しました。

## 4 特殊詐欺・暴力団・薬物事犯～組織犯罪対策係

### (1) 特殊詐欺事件関連被疑者の検挙

連続発生した息子かたりによる特殊詐欺事件について、だまされた振り作戦や防犯ビデオの追跡捜査などの実施により、複数の被疑者を検挙しました。

### (2) 暴力団排除対策

令和7年2月、東部文化会館において、山科・醍醐暴力対策協議会総会を開催し、管内における暴力団や匿名流動型犯罪グループの現状などについて情報共有しました。



【総会の開催状況】

### (3) 薬物乱用防止に向けた取組み



【啓発活動の状況】

令和7年10月、山科署は京都市、京都薬科大学、本部捜査第五課と合同で、大型商業施設において、広報チラシ等を配布して薬物乱用防止啓発活動を行いました。

## 5 現場鑑識活動～鑑識係

近年、裁判において益々客観的証拠が重要視されており、指掌紋のみならず、犯人が触るなどした箇所からDNAを採取して、事件の立証に役立てています。令和7年12月5日に開催された警察署協議会において、鑑識活動の業務内容、鑑識資料の種別などを説明したほか、協議会委員に活動体験をしていただきました。



【署協議会員による鑑識体験】

# 交通警察の活動

## 1 交通安全教育・広報啓発活動

令和7年中は、自転車事故、高齢者事故及び交差点事故の防止を重点に行政・関係機関・交通ボランティアなどの皆さんと連携した活動を実施しました。特に交通事故が多い幹線道路において、歩行者に対しては反射材の貼付、自転車利用者に対してはルールの遵守とマナーの向上、車のドライバーには安全運転について広報啓発活動を実施しました。

### (1) 「交通安全サンタからの願い」交通事故防止街頭啓発

管内の鉄道駅にて、約20年間、山科地域の風物詩ともなっている「交通安全サンタからの願い」イベントを交通安全協会・地域交通安全活動推進委員と合同で実施し、年末の交通事故防止を訴えました。



【啓発活動の状況】

### (2) バイクの日（8月19日）の交通事故防止啓発



【啓発活動出発式】

平成元年に内閣府が、交通事故撲滅を目的に、8月19日を「バイクの日」と制定しました。山科署では、東山署及び交通機動隊と合同で、国道1号、東山郵便局前、西野櫃川町にて二輪事故防止を訴える広報啓発活動を実施しました。

### (3) 児童への交通ルールの浸透施策

全国交通安全運動の期間中、大型商業施設にて、年少者を「キッズポリス」に任命して、来客者に「合図横断」など安全な道路横断方法を伝えるイベントを行いました。



【イベント開催状況】

### (4) 自転車ヘルメット着用促進への取組



【モデル事業所への指定書の伝達】

近年増加傾向にある自転車による重傷事故の未然防止に向けて、管内の事業所に対し協力を呼びかけ、賛同していただける事業所を「自転車ヘルメット着用促進モデル事業所」や「自転車ヘルメット着用促進宣言事業所」に指定し、自転車利用者へのヘルメット着用率の向上を図っています。

## 2 交通指導取締り

交通事故が多発する時間帯や場所において、交通事故に直結する悪質、危険な交通違反を重点的に取締りました。また子どもたちが安全に通学できるように、通学路での交通取締り・広報啓発活動を積極的に推進しています。



【通学路における交通安全啓発活動】

# 警備警察の活動

## 1 災害への対処

令和6年能登半島地震をはじめとした過去の大規模災害の経験を踏まえ、山科署では管内住民の安全・安心を守るため、救出救助能力の向上を図ると共に、関係機関と連携し各種防災訓練などを積極的に行っています。

### (1) 京都刑務所総合防災訓練

京都刑務所主催による総合防災訓練に山科消防、陸上自衛隊、京都赤十字社その他関係機関とともに参加し、連携を深めました。

(令和7年2月)



【訓練状況】

### (2) 山科区災害危険箇所防災視察



【視察状況】

出水期を前に山科区役所、東部土木事務所、山科消防署と合同で浸水を防止するための止水板設置の流れを確認したほか、災害危険箇所の視察を実施しました。(5月)

### (3) 山科警察署機能移転訓練

大規模災害の影響により、警察署が機能不全に陥ったとの想定に基づき、移転先として締結を結んでいる京都橘大学に警察機能を移転し、警察署対策本部を設置する訓練を行いました。(11月)



【訓練状況】

## 2 テロへの対処

### (1) 鉄道機関との不審者対応訓練

大阪・関西万博の開催を前に、鉄道線路内へ不審者が侵入したとの想定に基づき、鉄道職員と連携し不審者対応訓練を実施しました（3月）



【訓練状況】

### (2) 山科テロ対策・来日外国人安全対策ネットワーク総会の開催

山科署では、オウム真理教、極左暴力集団、右翼のほか、特定のテロ組織などと関わりのないままに過激化した個人、いわゆるローン・オフエンダーその他不特定多数の者に危害を加えるおそれのある者によるテロ等重大事案や違法行為の未然防止に努めるとともに、年々増加傾向にある来日外国人犯罪の情勢を踏まえた安全・安心なまちづくりを推進するため、「山科テロ対策・来日外国人安全対策ネットワーク総会」を開催しました。（11月）



【開催状況】

# 会計・警務警察の活動

## 1 警察協議会

警察署協議会は、警察署長が警察署の業務運営に民意を反映させるため、地域のみなさんのご意見をうかがうとともに、警察署の業務運営について説明し、その理解と協力を求めるものです。

京都府公安委員会から委嘱された13名で構成されており、令和7年は交通事故の抑止対策や人身危機事案への対応をはじめとした区民の安全・安心を守るための活動について協議し、多数の貴重なご意見をいただきました。



## 2 署員に対する術科訓練の実施

区民の皆さんから頼りにされる山科署であるため、柔道、剣道をはじめとする各種術科訓練に力を入れています。こうした中、令和7年府下逮捕術大会においてA組準優勝、府下柔剣道大会において柔道団体A組準優勝、剣道団体戦も上位に入賞するなど、その存在感を大きく示しました。



### 3 警察安全相談の受理・解決



山科警察署では、困りごとなどの各種相談を受け付けて、対処方法の教示や関係機関等の紹介を行っています。「これはどうしたらいいの？」などお困りの方は、山科警察署または全国共通の短縮ダイヤル「#9110」をご利用ください。「#9110」は発信地を管轄する警察本部の相談担当係に繋がります。

### 4 犯罪被害者支援活動

事件の予防検挙だけでなく、犯罪に遭われた方や、その家族の方々をサポートすることも大切な警察活動の一つです。山科警察署では、犯罪被害者に対する情報提供、相談・カウンセリング体制の整備、犯罪被害者支援に関する広報啓発活動など、様々な側面から犯罪被害者支援の充実を図っています。

令和7年は、管内の幼稚園で「ひまわりの絆プロジェクト」を行い、収穫した種をショッピングモールにて来客者に配布しました。

また、犯罪被害者週間（11月25日から12月1日の間）において、職員・職員家族を対象としたチャリティーバザーを開催し、売上金の全額を京都犯罪被害者支援センターに寄付しました。



## 5 働き方改革

京都府警察では全ての職員が活躍できる職場環境づくりのために、基本計画を公表し、各種休暇の取得促進や時間外勤務の縮減を進めております。山科警察署においても、独自に、昨年の6月以降、時間外勤務の縮減に向けて「定時隊長」の取り組みを始めており、幹部職員が輪番で早期退庁を促す庁舎内放送を行っています。



## 6 採用勧奨活動



昨今の厳しい採用情勢を受けて、山科警察署においては、個別相談会、夜間帯の体験型業務説明会、管内の学校へ出向き就職担当者への働きかけなど、魅力ある京都府警察をPRしております。

## 7 遺失物・拾得物の取り扱い

令和7年中に山科警察署や交番に届けられた落とし物当の取扱件数は、遺失物約6,300件、拾得物約2,500点で年々増加傾向にあります。取扱いで多いのは財布、携帯電話、鍵などで動物や多額の現金を取り扱う場合もあります。善意で届けられた落とし物を早く持ち主に返還できるように取り組んでいます。



## 山科警察署・交番の電話番号

山科警察署	075-575-0110
醍醐交番	075-571-0132
御陵交番	075-581-1717
山科駅前交番	075-592-1821
四ノ宮交番	075-592-2611
大塚交番	075-581-7000
栂辻交番	075-592-6166
勧修寺交番	075-591-4100
花山交番	075-593-5615
竹鼻交番	075-593-4929
石田交番	075-572-0620
小栗栖交番	075-572-0400
百々交番	075-594-0110

※ 事件発生時、至急の場合は **110 番通報**をお願いします。

